

病虫害発生予察注意報第 3 号

佐賀県

作物名：果樹全般（ナシ、ブドウ、カキ、キウイ
フルーツ、カンキツ類等）

病虫害名：果樹カメムシ類



1. 注意報の内容

発生地域：県内全域

発生量：平年より多い

2. 注意報発令の根拠

1) 予察灯での誘殺状況

誘殺虫数は5月2半旬から平年より多く推移していたが、6月6半旬以降に急増している（図1）。

2) フェロモントラップでの誘殺状況

誘殺虫数は5月3半旬から平年より多く推移していたが、7月1半旬以降に急増している（図2）。

3) 果樹園への飛来状況

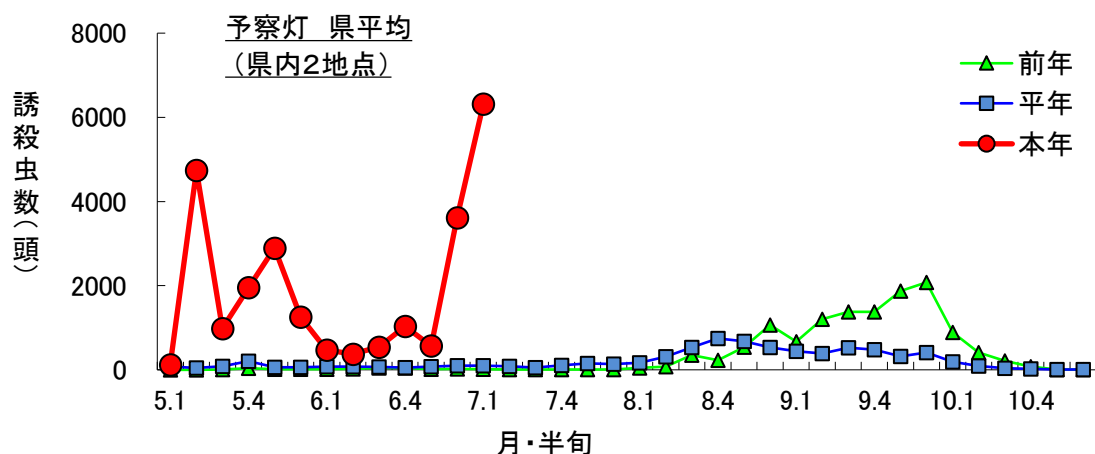
一部の果樹園への飛来が確認されている。

4) 今後の気象

九州北部の向こう3か月の気象予報（福岡管区气象台6月23日発表）では、7月～8月の気温は平年より高いと予想されており、本虫の活動に好適な条件である。

5) 今後の発生予想

現在発生している越冬世代成虫が生き残る8月上旬頃まで密度は高く、果樹園に飛来するおそれがある。



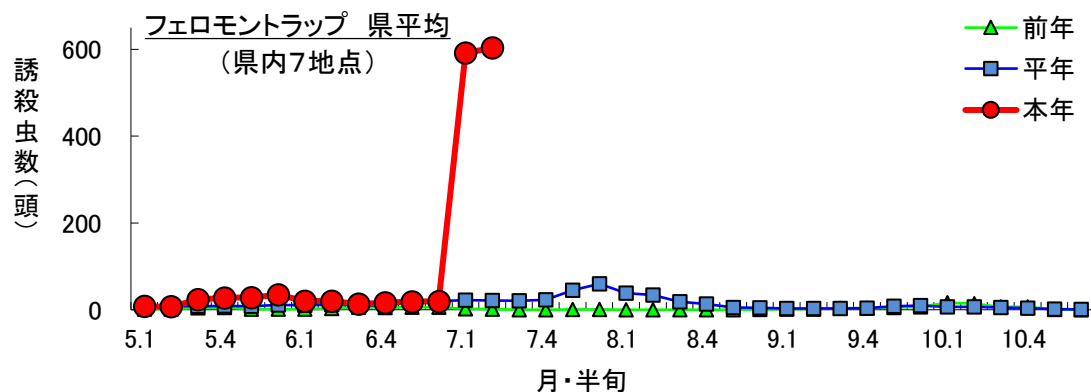


図 2 フェロモントラップでの果樹カメムシ類の誘殺虫数の推移

3. 防除対策

- 1) 飛来状況は、地域、園地、園地内の場所及び樹種によって異なるため、園内外をよく観察し、早期発見に努める。
- 2) 飛来が確認されたら、合成ピレスロイド系薬剤又はネオニコチノイド系薬剤で直ちに防除を行う。両系統の薬剤の残効期間は 10～15 日程度である。なお、ネオニコチノイド系薬剤は、30～50 mm 程度の降雨で防除効果が低下するため、散布後に同雨量以上の雨が降ったら再散布する。
- 3) 本虫は夜行性で、日没直後からしばらくの間に最も盛んに飛翔し園内に侵入する。そのため、果樹園に侵入する直前の夕方に薬剤を散布すると効果が高い。また、地域全体で一斉防除を行うと高い効果が得られる。
- 4) 施設栽培では、開口部に防虫ネット（4 ミリ以下）を設置する。
- 5) 今後の発生状況は、当センターが発表する各種情報及びホームページを参考にし、防除対策の詳細は「佐賀県病害虫総合防除計画」を参照する。

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部

〒840-2205 佐賀市川副町南里 1088

TEL (0952)45-8153 FAX (0952)45-5085

Mail nougyougijutsu@pref.saga.lg.jp

ホームページアドレス <https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00321899/index.html>

病害虫総合防除計画掲載アドレス <https://www.pref.saga.lg.jp/kiji003101844/index.html>

防除セ二次元コード*



防除計画二次元コード*

